



うどの 鵜殿ヨシ原 と 新名神高速道路

環境保全の取組み

～雅楽で使用される良質なヨシの保全～



鵜殿ヨシ原の現状
H25.5 撮影

鵜殿ヨシ原の調査状況



マーキングによる個体識別



草丈の計測

鵜殿ヨシ原と新名神高速道路の位置関係



鵜殿ヨシ原と箏篳（ひちりき）・蘆舌（ろぜつ）の概要

■ **雅楽とは** ※雅楽（発行：公益財団法人 菊葉文化協会 監修：宮内庁式部職楽部）より

雅楽は、千数百年の伝統を有し、世界で最も古い音楽文化財として貴重な歴史的価値をもつものであり、昭和30年、宮内庁式部職楽部の楽師が演奏する雅楽は国の重要無形文化財に指定され、楽師の全員が重要無形文化財保持者に認定されております。さらに平成21年には、ユネスコ無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。

このように雅楽は、今後伝承されていくべき我が国の伝統文化として国際的にも認知されており、雅楽それ自体が発展し広まるとともに、他の音楽・舞踊に影響を与えていく可能性を有しております。

■ 鵜殿ヨシ原の概要

大阪府高槻市の上牧（かんまき）・鵜殿（うどの）地区に広がる淀川流域に、長さ約2.5km、幅約400m、面積約75万㎡（甲子園18個分）のヨシ自生地帯が広がっています。

鵜殿に生えるヨシのうち良質なものは、雅楽で用いられる楽器『箏篳（ひちりき）』のリード『蘆舌（ろぜつ）』として珍重され、現在でも宮内庁の箏篳奏者は鵜殿のヨシを蘆舌に使用しています。

■ 鵜殿ヨシ原 ■



■ 箏篳（ひちりき）と蘆舌（ろぜつ） ■



⇒ 蘆舌（ろぜつ）

⇒ 箏篳（ひちりき）

■ 雅楽 ■



写真提供：宮内庁式部職楽部

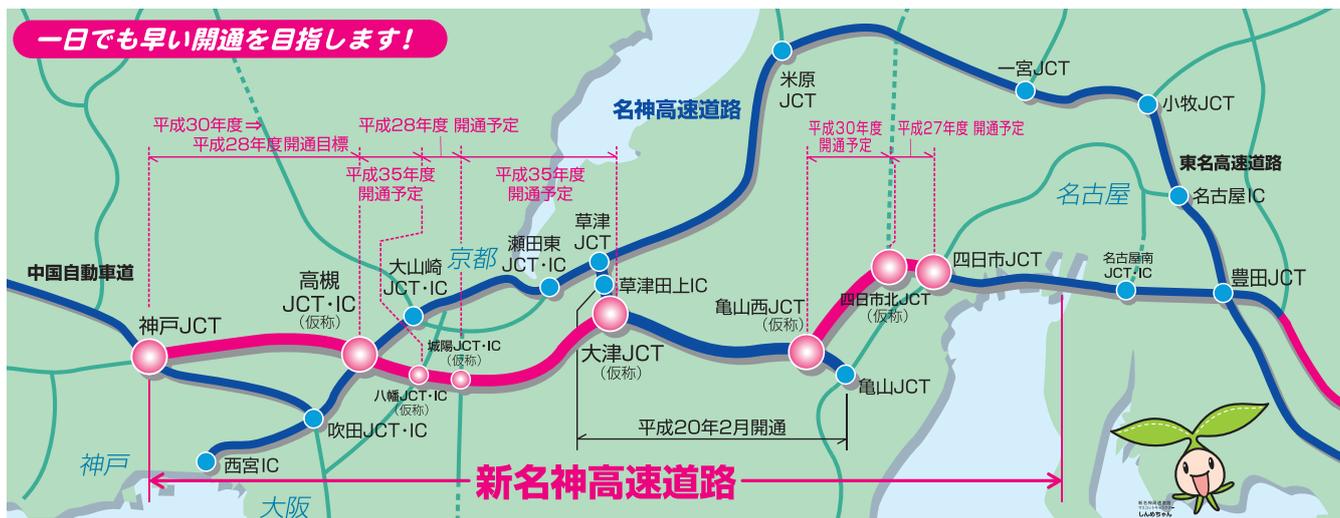
新名神高速道路の事業概要

新名神・新東名高速道路は、名神・東名高速道路と一体となって、これからの我が国の東西交通の基幹をなす路線であり、より安全かつ快適な高速走行を確保するとともに、名神・東名と適切に交通機能を分担し、高い信頼性の確保を図る目的として計画されました。



新名神高速道路（近畿自動車道 名古屋神戸線）は、名古屋市を起点として神戸市に至る、延長約174 kmの高速道路です。

西日本高速道路㈱では、大津 JCT（仮称）～神戸 JCT の約80 kmの建設事業を実施しています。



新名神高速道路（八幡～高槻）に係わる主な経緯

平成7年7月7日 都市計画決定（大阪府域） ルート決定

都市計画決定に先立つ環境影響評価での見解

事業の実施にあたっては、専門家の指導・助言を得て調査を行い、関係機関と十分協議調整を図り、道路の構造等についてさらに詳細に検討を行い葦原に極力影響を及ぼさないよう橋梁の構造、橋脚の配置、工法等を検討し葦原の保全に努めることとしており、また、事業実施後においても、関係機関と協議・調整のうえ必要に応じ調査を行い、葦原の保全のための適切な措置を講じることとする。（H6. 12：大阪府）

平成10年12月25日 施行命令（国土交通大臣⇒日本道路公団） 測量・調査等に着手

平成18年2月7日 事業の『凍結』

第2回国土開発幹線自動車道建設会議（国土交通省）

主要な周辺ネットワークの供用後における交通状況を見て改めて着工について判断する。

平成23年12月9日 今後の高速道路のあり方についての答申

高速道路のあり方検討有識者委員会（国土交通省）

【中間とりまとめより抜粋】

高速道路ネットワークに求められる機能

- ・大都市、ブロック中心都市間の連絡については、国土の骨格となるネットワークとして高いサービスレベルを確保。
- ・ゲートとなる空港、港湾などの連結性を高め、利用者に使いやすいスムーズなアクセスを強化。
- ・三大都市、ブロック中心都市を結ぶネットワークは、いざという時にも機能するよう多重化。

平成24年4月20日 事業許可（国土交通大臣 ⇒ 西日本高速道路㈱）

大都市間のネットワーク強化

近畿圏をはじめとする西日本と中京圏さらに首都圏の主要都市とのネットワークが充実・強化され、国土軸として高いサービスレベルを確保します。

巨大地震・豪雨などの災害に対する対応

大都市間を結ぶネットワークは、災害や事故など、いざという時にも機能するよう、多重化が必要です。新名神は名神と一体となり、ネットワークの多重化を形成します。

老朽化に対する対応

日本初の高速道路名神は、開通後約50年が経過します。老朽化対策として、今後大規模な補修が必要です。新名神が全線開通すれば、大規模補修を実施することが可能になります。

関西の高速道路の現状

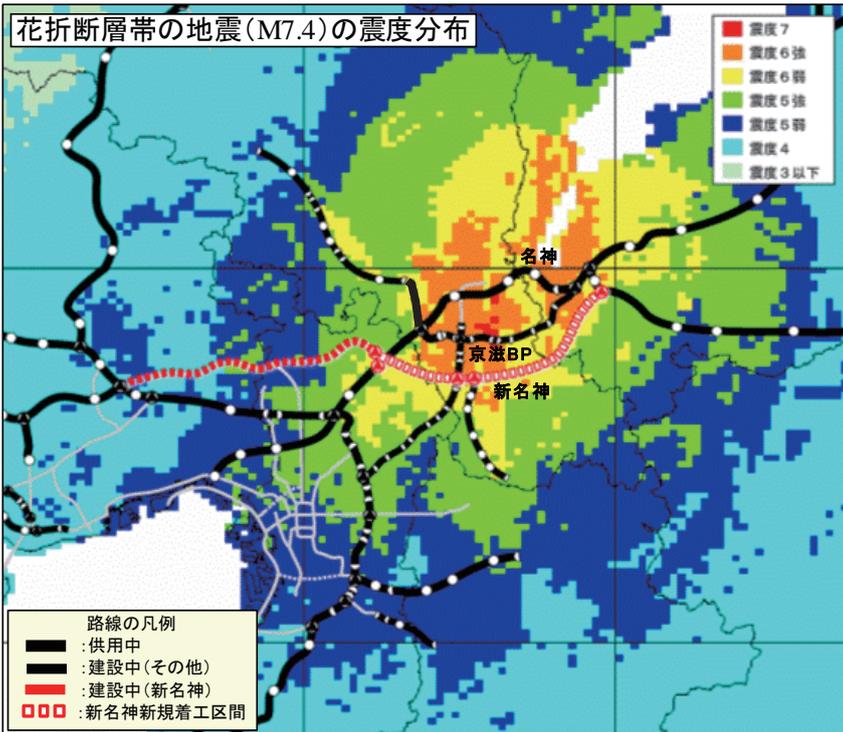
■名神高速道路の渋滞状況■

第二京阪開通（H22.3）後も、名神高速道路や京滋バイパス等で慢性的な渋滞が発生している。



■高速道路と断層■

名神高速道路と隣接している花折断層帯で地震が発生した場合、名神高速道路や京滋バイパスの沿線では震度6強以上の強震動を受ける地点が多くあり、ネットワークの多重化が必要である。



花折断層帯の地震 (M7.4) による被害想定

この地震の震度6強以上の強震動を受けるエリアは、京都市を含んだ人口や建物の集中した京都府の南部であり、大きな被害が想定される。

- 建物全壊・焼失棟数：約38万棟
(冬の昼12時、風速15m/s)
- 死者数：約11千人 (冬の朝5時、風速15m/s)

出典)「中央防災会議 東南海・南海地震等に関する専門調査会 (第26回)」
(H18.12.7) の資料をもとに、NEXCO 西日本で作成

■名神高速道路の老朽化の現状■

名神高速道路は、開通後約50年が経過しており、今後大規模な補修が必要となる。



鶺殿ヨシ原の環境保全に向けた検討会設置

新名神高速道路（八幡～高槻）は、平成24年4月20日に事業許可を受け、平成35年度開通を目指しています。

新名神高速道路は淀川を橋梁で横過する計画ですが、この場所には「鶺殿ヨシ原」があり、NE XCO西日本は、『鶺殿ヨシ原の環境保全に向けた基本的な考え方』を定め、新名神高速道路事業と雅楽で使用される良質なヨシ生育環境の保全の両立を図るために、専門家等から必要な調査、対策について指導、助言を頂くことを目的に検討会を設置しました。

■鶺殿ヨシ原の環境保全に向けた基本的な考え方

- 鶺殿のヨシ原は、雅楽で使用される良質なヨシの生育地であり、自然環境、歴史・文化的にも極めて重要な場所と認識しています。
- ヨシ原に極力影響を及ぼさないよう万全な対策を講じます。
- 対策検討にあたっては、専門家や関係者のご意見を十分に伺います。
- ヨシ原焼きが従来通り継続的に実施できるよう関係機関と調整し、対策を検討します。
- 雅楽で使用される良質なヨシ生育環境の保全と事業の両立に向け全力で取り組みます。

■検討会の概要

1) 目的

雅楽で使用される良質なヨシ生育環境の保全と新名神高速道路事業の両立を図るために、専門家から必要な調査、対策について指導、助言を得ること。

2) 検討会委員及びオブザーバー

植物、自然環境、地下水、橋梁などに関する専門家（鶺殿ヨシ原の環境保全に精通した専門家を含む）、地元関係者及び関係機関等により構成。

■第1回検討会

平成25年1月10日（木）開催

- ◇ 検討会の概要、検討スケジュール及び検討内容了承。
- ◇ 植生調査での適宜指導、助言を頂くための「植物ワーキング（WG）」設置。
- ◇ 維持管理段階にわたっての継続的な検証が必要。



■第2回検討会

平成25年6月23日（日）開催

- ◇ 筆築用ヨシ（雅楽で使用される良質なヨシ）の環境調査について
- ◇ 筆築用ヨシ（雅楽で使用される良質なヨシ）の育成調査について

【検討会メンバー】（平成25年6月時点）

（敬称略）

| | 氏名等 | 所属（専門等） |
|--------|-----------|-----------------------------------|
| 委員 | 鎌田 敏郎 | 大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 教授（橋梁） |
| | 小山 弘道 | 鶺殿ヨシ原研究所 所長（鶺殿保全） |
| | 中瀬 勲 | 兵庫県立人と自然の博物館 館長、兵庫県立大学 名誉教授（自然科学） |
| | 西垣 誠 | 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 資源循環学専攻 教授（地下水） |
| | 布谷 知夫 | 三重県立博物館 館長（植物学） |
| オブザーバー | 宮内庁式部職楽部 | 重要無形文化財「雅楽」保持団体 |
| | 国土交通省 | 河川管理者（近畿地方整備局 淀川河川事務所） |
| | 高槻市産業環境部 | 地元行政 |
| | 鶺殿のヨシ原保存会 | 鶺殿のヨシ原焼実行団体 |
| | 上牧実行組合 | 鶺殿のヨシ原焼実行団体 |
| | 東儀 秀樹 | 雅楽師、皇學館大学特別招聘教授 |

鶺殿ヨシ原保全検討に向けた全体スケジュール

| 年度 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 | 平成32年 | 平成33年 | 平成34年 | 平成35年 | 開通以降 |
|----------------------|--------------------------------------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 鶺殿保全 ヨシ検討 原の | 新名神高速道路鶺殿ヨシ原の環境保全に向けた検討会 | | | | | | | | | | | | 開通 予定 |
| | ヨシの生育等に関する現状調査 | | | 保全対策の検討 | | | | 保全対策の実施及びモニタリング | | | | | |
| 関取 係り す組 るみ | 地元ヨシ原保全団体の取り組みへの参加など、持続可能な鶺殿ヨシ原の保全活動 | | | | | | | | | | | | |

鶺殿ヨシ原の保全検討 植物WG 調査状況

鶺殿ヨシ原内の雅楽で使用される良質なヨシの保全検討を行うため、植物WGを設置し、ヨシ生育に関する各種条件把握のための調査を実施しています。



調査枠の設定（設置状況）



調査枠の設定



土壌の水分条件の計測

※表紙にも、マーキングによる個体識別、草丈の計測写真を掲載しています

鶺殿ヨシ原の環境保全に向けた NEXCO 西日本の取り組み

鶺殿ヨシ原の保全に協力するために、ヨシ刈りに参加しました。地元関係者の方々の活動を支援し交流を深めるとともに、鶺殿ヨシ原についてより理解を深めてまいります。



関西支社管内 道路網図



みち、ひと…未来へ。

NEXCO

西日本

西日本高速道路（株）関西支社

〒567-8071 大阪府茨木市岩倉町 1-13
 TEL.06-6344-8888 FAX.06-6344-9244

西日本高速道路（株）新名神大阪東事務所

〒573-0032 大阪府枚方市岡東町 8-9 MKDビル 4階
 TEL.072-804-3570 FAX.072-804-3571